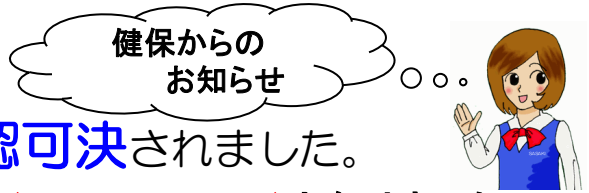


# JVCケンウッド 健康保険組合の決算が承認可決されました。



予算より良化したものの3期ぶりの**経常赤字(▲179 百万円)**となりました。  
保険給付費の増加と高齢者納付金が重い負担となっています。

去る7月20日(水)に開催されたJVCケンウッド健康保険組合 第203回組合会において、令和3年度の事業および収支決算の審議が行われ、原案どおり承認可決されました。

## 決算の概要

### 【一般勘定】

#### <概要>

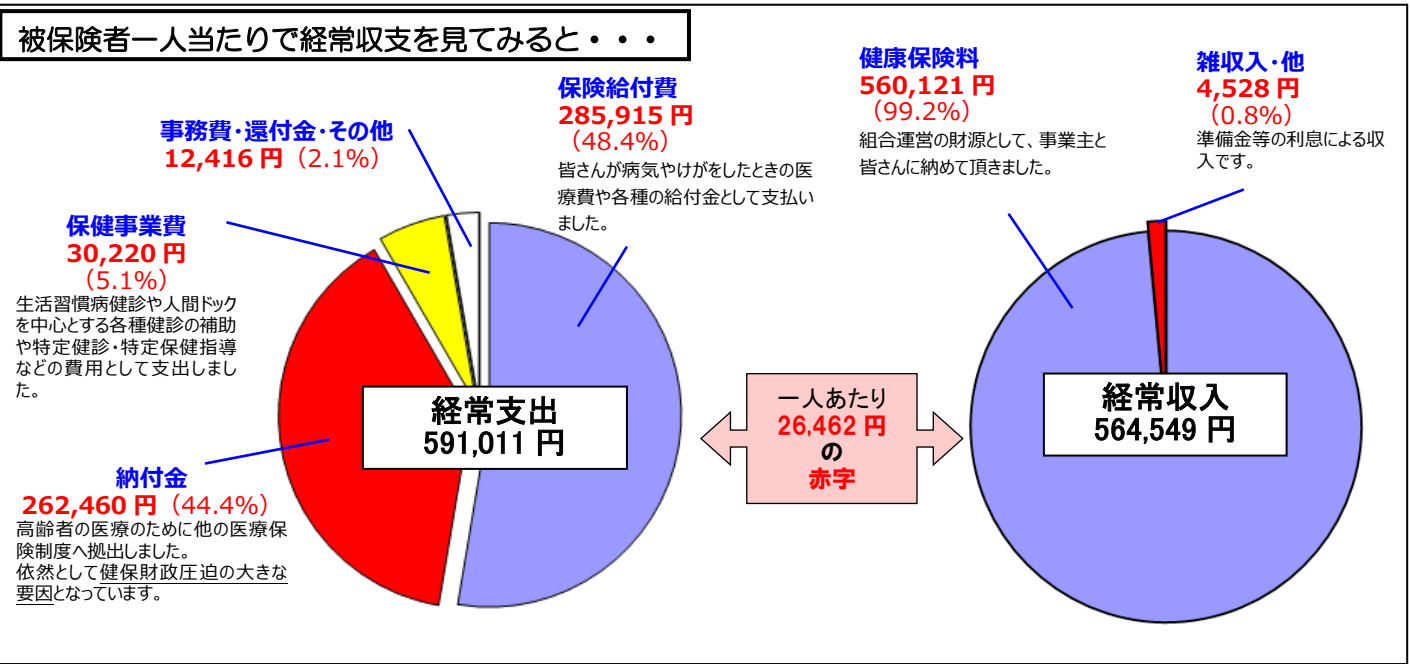
- ・経常収入のうち保険料収入は、予算対比 100.1%、予算差 3 (百万円) 増加しました。経常収入トータルでは、予算対比では 100.2%、予算差 7 (百万円) の増加となりました。しかし前年度比では 95.5%と減少しています。
- ・経常支出では、保険給付費は支出リスクを鑑みた予算を組んだものの、予算対比 104.0%、予算差 75 (百万円) の増加、前年度比でも 108.1%で 146 (百万円) の増加となりました。
- ・高齢者納付金はほぼ予算どおりでしたが、前年度比で見ると 145.0%の 552 (百万円) の増加となっています。
- ・保健事業費はコロナ禍の影響もあり予算対比 85.5%、予算差 35 (百万円) の減となりました。
- ・経常支出トータルでは予算対比 99.3%、予算差 28 (百万円) の減少となった。
- ・経常収支全体では、予算に対し、収入は微増し、支出も減少となったため、**経常収支差引は△214 (百万円) の赤字予算に対し △179 (百万円) の赤字**で締めることができました。
- ・別途積立金繰入を行なったことと交付金・補助金収入もあったため、経常外も含めた**最終収支残高は、737 (百万円) の黒字**となりました。

#### <収入のポイント>

- ・当年度は保険料率 84%を維持しました。保険料計算の基となる年間平均標準報酬月額は、455,953 円で予算比 99.3%、予算差 3,385 円の減となりました。一方、総標準賞与額は 9,009 (百万円) で予算比 104.5%、予算差 391 (百万円) の増となったため、保険料収入全体としては、ほぼ予算どおりとなりました。

#### <支出のポイント>

- ・保険給付費において、被保険者一人当たりの給付費が前年度より 25,465 円増加し 285,915 円となりました(前年度比 109.8%)。コロナ影響の少ない令和元年度と比べても 19,896 円の上昇となっています。増加要因として、受診件数が全体的に増加していることから、コロナ禍での受診控えの反動が表れたものと考えられます。さらに、被保険者の療養給付費・高額療養費が増加していることも増加要因として挙げられます。
- ・高齢者納付金の増加要因は、前期高齢者納付金で当年度の概算分と前々年度の精算分の追加徴収分が多かったため、前年度に比べ 552 (百万円) 増加しました。
- ・保健事業費は合計が 205 (百万円) で、前年度比 102.7%となりました。新型コロナウイルスの影響により歯科集団検診等一部事業の実施見送りもありましたが、健診の受診控えがおさまり、コロナ禍以前の受診率に戻ったことなどが影響しました。



### 【介護勘定】

- ・介護保険料収入は予算対比で 100.9%となりました。当年度は介護保険料率を 15%から 18%へ改定したため、前年度対比では 114.9%となりました。
- ・準備金繰入含め収支結果は、収支残金 81 (百万円) の黒字となり、当年度は介護納付金を介護保険料で賄うことができました。

令和3年度 収入支出決算概要

□ 一般勘定 □□□□□

【決算基礎数値】

- 平均被保険者数：6,777人
- 平均標準報酬月額：455,953円
- 総標準賞与額（年間合計）：9,009（百万円）
- 扶養率：0.90人
- 被保険者の平均年齢：47.51歳
- 保険料率：84.00%

(百万円)

(百万円)

● 収入 ●		
科目	決算額	予算額
健康保険料	3,795	3,792
調整保険料	66	67
繰入金	762	762
国庫補助金	97	2
高額医療交付金	56	18
雑収入・他	32	27
合計	4,808	4,668
経常収入合計	3,826	3,819

● 支出 ●				
科目	決算額	予算額	保険料収入に対する割合	
事務費	81	96	2.1%	
保険給付費	1,938	1,862	51.1%	
納付金	前期高齢者	777	802	—
	後期高齢者	1,002	1,029	—
	退職者給付	0	0	—
	計	1,779	1,831	46.9%
保健事業費	205	240	5.4%	
還付金	0	2	0.0%	
財政調整事業	66	67	1.8%	
その他	2	2	0.1%	
予備費	0	567	0.0%	
合計	4,071	4,668	—	
経常支出合計	4,005	4,034	—	
経常収支残高	▲179	▲214	—	
最終収支残高	737	0	—	

□ 介護勘定 □□□□□

【決算基礎数値】

- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数（平均）：5,155人
- 平均標準報酬月額：494,377円
- 総標準賞与額（年間合計）：7,626百万円千円
- 保険料率：18.00%

(千円)

(千円)

● 収入 ●		
科目	決算額	予算額
介護保険料	692,630	686,536
繰越金	0	0
準備金繰入金	66,119	66,119
その他	15	15
一般勘定受入	0	0
収入合計	758,764	752,670

● 支出 ●			
科目	決算額	予算額	被保険者一人あたり額
介護納付金	678,047	684,000	130,318円
還付金	140	960	27円
準備金繰入	0	67,710	—
一般勘定繰入	0	0	—
支出合計	678,187	752,670	130,345円
収支差引額	80,577	0	—

1. 一般勘定

令和4年3月31日現在

種別		金額(千円)
準備金	金員 銀行預金(定期)	956,916
	支払基金委託金	20,846
	合計	977,762
別途積立金	金員 金銭信託	166,454
	銀行預金(定期)	4,952,055
	合計	5,118,510
退職積立金	金員 銀行預金(定期)	11,344
	合計	11,344
その他	土地/建物	0
	その他備品	1,539
	ラフォーレ預託金	78,000
	合計	79,539
一般勘定計		6,187,154

令和3年度 収支決算残金処分

1. 一般勘定

- 令和3年度収支残金 736,904,682円
- (1) 法定準備金 0円
- (2) 別途積立金 736,533,139円
- (3) 財政調整事業繰越金 371,543円

2. 介護勘定

- 令和3年度収支残金 80,576,697円
- (1) 法定準備金 80,576,697円

2. 介護勘定

令和4年3月31日現在

種別		金額(千円)
介護準備金	金員 銀行預金(定期)	217,154
	合計	217,154
介護勘定計		217,154

# 令和3年度 事業報告

令和3年度は令和2年度同様、新型コロナの影響もあり、集団で行う一部の保健事業において、実施を中止する措置を取ったが、概ね第2期データヘルス計画及び当健保独自の指標「ヘルスアップ5か年計画」に基づいた保健事業を展開しました。各保健事業の実施結果、課題等について以下に報告します。併せて業務改善(事務担当者の業務軽減、利用者の利便性UP)に向けた取組についても報告します。

	目標/計画	実績	コメント・課題等
<b>■ 特定健康診査・特定保健指導</b>			
特定健康診査（受診率） 被保険者／被扶養者	86.6% 99.0%/57.0%	85.1% 97.9%/53.4%	前年度は新型コロナウイルス感染拡大による受診控えの影響もあり、受診率が下がった（81.4%）が、令和3年度はその反動もありコロナ禍前の受診率まで回復。 課題⇒被扶養者の受診率UP
特定保健指導（実施率） 被保険者／被扶養者	31.90%	13.4% (見込み値) 14.1%/5.8%	実施率低迷⇒ <b>令和4年度最重要課題</b> ※前年度実績：12.4%
<b>■ 疾病予防事業</b>			
人間ドック／生活習慣病健診	☆4,343名	4,297名	前年度（4,088名）より利用者増
がん検診	5大がん受診率 50%以上 (国の目標値)	胃:65% 大腸:78% 乳房:41% 子宮:33% 肺:83%	対象：30歳以上 対象：30歳以上 対象：25歳以上 対象：25歳以上 対象：40歳以上 } 健保補助対象年齢
インフルエンザワクチン接種補助	☆7,400名	5,788名	接種率45%（前年55%：7266名） ⇒新型コロナ感染予防対策により、インフルエンザの流行が抑えられたことも接種率減の要因と考えられる
歯科健診(集団検診)	☆1,680名	60名	JK長野以外中止
重症化予防(受診勧奨通知)	27% 通知後の受診率	19.70%	前年度（19.4%）とほぼ同じ 約8割の方が未治療という状況から、事業主と連携しながら今後取組む
禁煙サポート	☆50名	1名	特定保健指導のオプションで参加
セミナー補助(メンタル対策等)	☆300万円	0円	新型コロナ感染予防のため、集合形式でのセミナー回避したことも影響し、補助制度利用は無し。
<b>■ 保健指導宣伝事業</b>			
健康年齢通知書配布	☆5,500名	5,639名	健保に健診データ提供の35歳未満の方へも配布
WEBウォーキング	☆500名 (完歩者)	323名	参加者は536名と前年330名より増加
健保ホームページリニューアル	年度内公開	令和4年4月公開	令和4年度からの機関誌配布を廃止（情報発信をホームページに集約） スマホにも対応
<b>■ 健康管理事業推進委員会</b>			
	4回/年 開催	計画通り 4回開催	5/28・9/10・12/14・3/4
<b>■ 医療費適正化</b>			
ジェネリック医薬品利用促進通知	1回/年	1月配布	ジェネリック使用率:82%（1月診療分） ※国の目標:80%以上
<b>■ 業務改善</b>			
被扶養者資格確認（検認） WEB化導入	今年度より導入	予定通り導入	事業所側の工数低減（配布・回収）
インフルエンザワクチン 個人接種補助申請のWEB化導入	導入検討	今年度より導入	システムの不備により当初（11月～）より1か月遅れてスタート。 事務工数は半減（2名体制→1名）

☆：予算上の人数・金額  
赤字：目標未達  
青字：目標達成

<b>■ その他</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブメガロスとの法人契約 コロナ禍による運動不足解消への施策として、新たに「スポーツクラブメガロス」と法人契約を締結し、既に契約している「スポーツクラブ ルネサンス」と併せ、利用者の選択肢を増やしました。</li> <li>・申請書類の電子申請化 業務改善の施策として、事業所からの各種届の電子申請に関しても適宜進めています。</li> </ul>			